

# 福島第一原子力発電所の状況

平成 25 年 12 月 12 日  
東京電力株式会社

## < 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (12/12 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力*1	原子炉格納容器 水素濃度
1 号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 1.8 m <sup>3</sup> /h	21.8 °C	105.2 kPa abs	A系： 0.10 vol%
		給水系：約 2.4 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.07 vol%
2 号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 3.3 m <sup>3</sup> /h	30.4 °C	9.45 kPa g	A系： 0.07 vol%
		給水系：約 1.9 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.08 vol%
3 号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 0.0 m <sup>3</sup> /h	29.7 °C	0.23 kPa g	A系： 0.10 vol%
		給水系：約 5.4 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.10 vol%

\*1：絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

## < 2. 使用済燃料プールの状況 > (12/12 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1 号機	循環冷却システム	運転中	16.0 °C
2 号機	循環冷却システム	停止中	14.8 °C
3 号機	循環冷却システム	運転中	13.3 °C
4 号機	循環冷却システム	運転中	20.2 °C

※各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルヘビドラジンの注入を適宜実施。

- ・ H25/11/18 15:18～ 4号機使用済燃料プールから燃料を取り出す作業を実施中。なお、同作業は平成 26 年末頃まで行う予定。
- ・ H25/12/12 9:58 2号機使用済燃料プール代替冷却系の弁簡易点検に伴い、同冷却系を停止（停止時プール水温度：14.8°C）。その後作業が終了したことから、同日 13:30 に同冷却系を起動。起動後の運転状態に異常なし。なお、運転状態については異常がなく、また、使用済燃料プール水温度は冷却停止時の 14.8°C から変化はなく、運転上の制限値 65°C に対して余裕があり、使用済燃料プール水温度の管理上問題ない。

## < 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元	移送先	移送状況
全号機移送停止中			

## < 4. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (12/12 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	除染装置	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種除去設備 (ALPS)
運転 状況	停止中	停止中	停止中	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	ホット試験中*

\* 当面は、3系列のうち2系列による運転を実施することで2系列運転の稼働率を向上させていくこととし、準備が整い次第、3系列の同時運転を実施予定。なお、A系については、11/29 12:40 から腐食対策有効性確認のために運転を停止中。

C系については、制御系の改造工事を行うため、12/10 7:30 に停止。12/13 から運転再開予定。

B系についても、制御系の改造工事を行うため、12/11 9:50 停止。12/13 から運転再開予定。なお、B系については、本年 12 月下旬頃（予定）に腐食対策有効性確認のため、処理運転を停止予定。

- ・ H23/6/8～ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。

- ・ H25/12/12 7:31 第二セシウム吸着装置（サリー）について流量計交換工事を行うため、装置を停止。12/18、当該装置を運転再開予定。
- ・ H25/12/12 15:00 セシウム吸着装置を起動し、定常流量(35.2m<sup>3</sup>/h)に到達。15:17 に異常ないことを確認。

## < 5. その他 >

- ・ H25/11/8 8:15 頃、5・6号機北側雑固体廃棄物焼却設備建設現場において、ユニック車へ燃料(軽油)を給油する際に、給油ノズルを装着せずに給油バルブを開けたことから、軽油を敷き鉄板上に約3リットル漏らした。8:50に双葉消防本部へ連絡。漏らした軽油は中和剤散布・吸着材による拭き取りを行い、11:28に処理完了。その後の調査により、作業改善を目的にタンクローリー車の設備の一部(給油ホース)を改造したことが一因であることが判明。なお、本改造については、消防法違反が疑われたことから、その内容について所轄の双葉消防本部に報告した結果、消防法に基づく違反(無許可変更)であると判断され、施設(タンクローリー車)の使用停止命令を受領(12/3付)。今後、速やかに是正処置を行う予定。
- ・ H25/11/25～H25/12/20(予定) 5号機補機冷却海水系について、ストレーナ点検及びタービン補機冷却水系熱交換器(A)海水入口弁及び海水出口弁の点検を行うため、15:35に全台停止。当該期間において、使用済燃料プール冷却系が使用できなくなるが、残留熱除去系による原子炉停止時冷却運転(炉心冷却)と非常時熱負荷運転(使用済燃料プール冷却)を交互に切り替えることで、使用済燃料プール冷却を実施予定。なお、冷却停止における原子炉停止時冷却運転(炉心冷却)および非常時熱負荷運転(使用済燃料プール冷却)は24時間毎に切替えを行い、炉水温度上限65、使用済燃料プール温度上限35を目安とし、保安規定で定める運転上の制限値を超えないよう管理する。また、冷却停止時における炉水温度及び使用済燃料プールの温度上昇率より、予想される温度は炉水温度約42、使用済燃料プール水温度約30と評価。停止時の使用済燃料プール水温度は19.6であった。  
その後、システムを停止し点検作業を行っていたが、他の作業の影響により、当初予定していた12/13までの停止期間について12/20まで延長する。
- ・ H25/12/13 海側遮水壁工事において資機材搬入を行うため、1～4号機取水口付近に設置したシルトフェンスの開閉を2回予定。

### 【H4エリアタンク等からの水の漏えい関連】

#### <タンクエリアパトロール実績(12/11)>

- ・ 高線量当量率箇所(β+γ線(70μm線量当量率))は確認されず。
- ・ 堰床部に雨水が溜まった箇所については、雨水による遮へい効果により線量当量率は低い状態となっている。
- ・ 目視点検によりタンク全数に漏えい等がないこと(漏えい確認が出来ていない堰内溜まり水内を除く)を確認。
- ・ サーモグラフィーによる水位確認(前回撮影分の分析結果)については、前日の雨の影響により撮影できなかったため、実施していない。

#### <H4エリア周辺のサンプリング実績>

- ・ 前回採取した測定結果と比較して有意な変動なし。

#### <福島第一構内排水路・南放水口・揚水井のサンプリング実績>

- ・ 前回採取した測定結果と比較して有意な変動なし。
- ・ 12/10 10:10～ 汚染水拡散の防止策として、H4エリア周辺に設置したウェルポイントから地下水の汲み上げを再開。

### 【タービン建屋東側の地下水調査/対策工事の実施状況】

#### <トピックス>

- ・ 1, 2号機取水口間のウェルポイントおよび集水ピット(南)地下水から立坑Cおよび2号機タービン建屋への移送量は12/12 0:00時点で約6,308m<sup>3</sup> \*集水ピット(南)およびウェルポイントの総量

#### <地下水観測孔サンプリング実績>

- ・ 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

#### <移送関係>

- ・ H25/12/3 15:35 2, 3号機東側に設置したウェルポイント(バキュームによる強制的な排水設備)からの地下水汲み上げ、2号機タービン建屋への移送について移送開始。移送状況については漏えい等、異常のないことを確認。12/8 10:26 ウェルポイントからの汲み上げを停止。今後計画的に移送を実施。地下水の放射能濃度に変化が見られなかったことから、汲み上げ量を増やし、12/10から3日間、再度試験的な汲み上げを実施。
- ・ H25/12/10 1, 2号機間護岸エリア地下水観測孔No. 1-16の放射能濃度が上昇傾向にあることから、当該観測孔からの地下水の汲み上げを試験的に実施中。

- ・H25/12/11 1, 2号機間護岸エリア地下水観測孔 No. 0-3-2 でトリチウムが検出されていることから、当該観測孔からの地下水の汲み上げを試験的に実施中。

**【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】**

<トピックス>

- ・H25/7/1～ 拡散防止対策およびサンプリングは継続実施中。
- ・H25/10/3～ 地下貯水槽 No. 1 の汚染範囲調査開始。
- ・H25/10/23～ 地下貯水槽 No. 6 において浮き上がり対策を実施中。
- ・H25/11/15～ 地下貯水槽 No. 5 において浮き上がり対策を実施中。
- ・H25/11/19～ 地下貯水槽 No. 1 において浮き上がり対策を実施中。
- ・H25/11/28～ 地下貯水槽 No. 3 において浮き上がり対策を実施中。

<地下貯水槽サンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

以 上